

目を細めてじいつと

目を細めてじいつと火を見つめてゐる私のうしろから  
同じ火を見つめてゐるやうにしてゐるのは誰だらう  
あたたかい息吹を感じるけれど お前なのか  
たつたいま 私をののしつたお前なのか

時計のしづかな秒のきざみを心の中でかぞへてゐる私のうしろから  
同じやうに秒のきざみをかぞへてゐるのは誰だらう  
私の肩に手をかけたのは お前にちがひないのだ  
私の耳もとで はげしい言葉を吐いたお前なのに

くちびるとくちびるをあはせるためには  
心と心との和解が成りたつためには  
しかし もうすこし私たちはこのままじつとしてゐるのがよいのだ

壁紙はもうところどころうつすらとしみがつきはじめた  
壁紙の上の赤い花の模様も緑の葉の模様も  
この頃の 私たちのやうに 争つたりしてすこし疲れてゐるやうだ